



## 進むヤマビル調査！

(一社)てるのは森の会は、平成29年から大学関係者や一般市民と協働で「ヤマビル生息調査・被害対策協働プロジェクト」を

綾の照葉樹林内で行っています。これは、入山者のヤマビルへの理解を深め環境教育を推進しようと始まったものです。

ヤマビルは体長3〜4<sup>センチ</sup>。湿気の多い場所を好み、動物が近づいてくると足などに付いて血を吸います。特に6〜10月の雨が降ったときに被害が増加します。

環境省の報告では、九州におけるヤマビル吸血被害は本県が最も多くなっています。綾町でも山林作業やキャンプ、釣り、森林セラピーなどで森に入る人の吸血被害が増えており、てるのは森

の会が町内で行ったアンケート調査では、森や里山だけでなく自宅周辺でもヤマビルを見たとの回答が3割にのびりました。

また、採取したヤマビル62個体のDNAを調べたところ、最も吸血されていたのはなんと人間でした(66.7%)。続いてニホン

ジカ、アナグマ、イノシシの順に多く、ほかの地域ではシカやイノシシが多いので予想外の結果となりました。これは綾町がユネスコエコパークに登録され、環境学習や調査研究、観光などで森に入る人が増えたことが影響しているのかもしれない。

乾燥している時期には吸血被害は少なくなりますが、山林に入るときは長靴をはき、ズボンの



すそを靴下の中に入れて足首を出さないようにしましょう。首筋なども注意が必要です。ヤマビルを避けるのに効果がある防虫スプレーなども市販されています。

てるのは森の会ではヤマビル調査隊員を募集しています。詳しくはお問い合わせ下さい。

### ■てるのは森の会

☎ 35-7288

出典/照葉樹林だより第51号

### ■ユネスコエコパークセンター

・火曜休館

・会議室の利用は事前に申し込みをお願いします

☎ 77-3482

## column

### ミナミメダカ

国内最小級の身近な魚であるメダカ。最近の研究で、西日本・中部・東日本の太平洋側に分布するミナミメダカと、中部・東日本の日本海側に分布するキタノメダカの2種類に分けられました。綾に生息するのはミナミメダカです。

さらに九州内でも地域によって遺伝子に違いが見られ、環境の影響を受けて独自の進化を遂げてきたことも分かっています。

一方で、田んぼの整備や河川改修により全国的に減少していることに加え、飼育されていたメダカが放流されることで、地域独自のメダカの遺伝子が汚染されることも問題になっています。日本列島の歴史の生き証人である地域のメダカを大切にしていきたいです。

